

第10回東北圏広域地方計画協議会検討会議 議事要旨

1. 日時

平成29年2月13日（月） 13時30分～14時50分

2. 場所

仙台合同庁舎B棟 12階 東北地方整備局 大会議室

3. 議事

(1) 東北圏広域地方計画の推進について

- 1) スケジュールについて
- 2) 計画の推進体制について
- 3) 広域連携プロジェクトの推進について
- 4) 計画のフォローアップについて

(2) その他

4. 配布資料

議事次第

出席者名簿

配席図

資料1：東北圏広域地方計画 平成28年度スケジュール（案）

資料2：東北圏広域地方計画の推進 ①計画の推進体制について（案）

資料3：東北圏広域地方計画の推進 ②広域連携プロジェクトの推進について（案）

資料4：先行調整してきた「既存連携取組」と東北圏広域地方計画との関連一覧

資料5：広域連携PJの既存連携（複数県で連携）取組等一覧表

資料6：東北圏広域地方計画の推進 ③計画のフォローアップについて（案）

資料7：広域連携PJの具体的取組内容のフォローアップ項目（たたき台）

参考資料1：官民連携基盤整備推進調査費について

参考資料2：東北経済連合会新ビジョン「わきたつ東北」

5. 主な発言内容

(1) 東北圏広域地方計画の推進について

1) スケジュールについて<資料1>

事務局より、今後の予定および検討の進め方について説明を行った。

- ・質疑なし

2) 計画の推進体制について<資料2>

3) 広域連携プロジェクトの推進について<資料3、4、5>

事務局より、計画の推進体制および広域連携プロジェクトの推進について説明を行った。

●国の地方行政機関

- ・資料3 (P. 4) に記載の広域連携プロジェクト「1. 新しい東北圏を創造する東日本大震災からの復興プロジェクト」の既存連携取組が「抽出による既存連携取組なし」となっているが、復興プロジェクトとして様々な事業が進行しており、ホームページ上でも様々な取組が紹介されているかと思う。こうしたホームページ上で検索しても既存連携取組に該当するものがないという結果になったということか。

●事務局

- ・復興プロジェクトに係るキーワード等、ホームページ上で計画の記述に該当するものを検索し、各機関への照会を行った結果、「抽出による既存連携取組なし」としている。
- ・復興局においては様々な取組を実施されていると思うので、既存連携取組に該当するものについてご提案いただければありがたい。

4) 計画のフォローアップについて<資料6、7>

事務局より、計画のフォローアップについて説明を行った。

●国の地方行政機関

- ・具体的取組項目の進捗状況の把握方法について、資料6 (P. 1、2) に具体的項目毎に「定性的評価」または「定量的評価」を採用する予定であること、できるだけ代理指標を設けて指標値の増減を把握するという内容の方針が示されているが、可能な限り定量的評価を行うという趣旨でよいか。

●事務局

- ・基本的には定量的評価を考えている。しかし、定量的評価では表現しづらい部分や定性的評価でなければ捉え難いものもあるため、タイプB (定性的評価) を用意している。

●国の地方行政機関

- ・計画のサブタイトルにもあるように、東北が防災の先進圏域となり自らが防災・減災に取り組んでいく必要があると考えている。今後、南海トラフ地震等が起きた場合には、東北が被災地や日本全体を支えるということになるかと考えている。そうした意味でも復興を一層加速させ、実質的な発展を進め、更にそれを超えていく必要がある。
- ・また近年、第4次産業革命ということでIoTやビッグデータ、ロボット等、大変な技術

革新が起きつつあり、製造業のみならず物流や農業、観光、金融等の様々な分野に変革をもたらす可能性がある。このような大きな変化に対応するためにも、所管や地域の垣根を超えた各機関の連携が必要と考えている。

- ・この東北圏広域地方計画が施行される10年間でも様々な変化が起こると考えられるが、そうした変化に対応しながら着実に成果を上げられるようPDCAを確実に回していくことが大変重要であり、しっかりとフォローアップしていく必要がある。当局としても協力していければと考えている。

●事務局

- ・東北全体として、連携し総合力を発揮して対応していく必要がある。連携した取組を一層進めていく必要があると認識している。
- ・広域地方計画は、様々なプロジェクトを進める上での新しい枠組として捉えていただければと思っている。各所管を超えた事業等を進める場合にこの枠組を上手く活用できる場面があると思うので、ご活用いただければと考えている。

●国の地方行政機関

- ・資料6(P.4)で、事務局にてフォローアップ項目(案)と担当構成機関(案)を作成し、構成機関に提示とあるが、資料1のスケジュール(案)のとおり、2月下旬には案が提示されるということでしょうか。

●事務局

- ・基本的にはそのように進められればと考えているが、調整する中で多少日程が前後する可能性もあるので、ご了承いただきたい。

●事務局

- ・議題(1)東北圏広域地方計画の推進について、ご意見のあった広域連携プロジェクト「1.新しい東北圏を創造する東日本大震災からの復興プロジェクト」の既存連携取組に関して、関係機関と事務局で協議を行い、追加の合意を得られた取組については事務局で資料に反映し、周知する。
- ・本日ご説明した東北圏広域地方計画の推進について、皆様から合意を基本的に得られたということで問題ないか。
(異議なし)

(2) その他

事務局より、来年度実施予定の調査(「先端産業の集積に必要なインフラ整備やまちづくりに関する調査」及び「電子版スタンプラリーを用いた取組の支援策調査」)について情報提供を行った。また、参考資料1の官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業(官民連携基盤整備推進調査費)について紹介した。

また、東北経済連合会より、参考資料2の東北経済連合会新ビジョン「わきたつ東北」についてご紹介いただいた。

- ・質疑なし

以上